



学校教育アンケートの結果及び 要望・意見に対する回答について

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、12月に実施した学校教育アンケートに対し、多くの保護者の方のご協力をいただき、ありがとうございました。

今回の特別号では「1 学校運営について」「2 本年度の実践目標について」「3 学校生活について」「4 家庭教育（生活）について」の4項目について、来年度の学校運営・教育実践に反映し、考えてみたい点に触れながら、結果等をお伝えいたします。また、保護者の皆様からのご要望・ご意見に対しましては、職員全員で共有し、検討させていただきましたので、現段階での方向や回答をお読みください。

なお、学校教育アンケートの集計結果の詳細につきましては、本校のホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。

《 1 学校運営について（保護者アンケートのみ） 》

右の全ての質問に対し、75%以上「そう思う・おおむねそう思う」の肯定的な回答を多くいただきました。

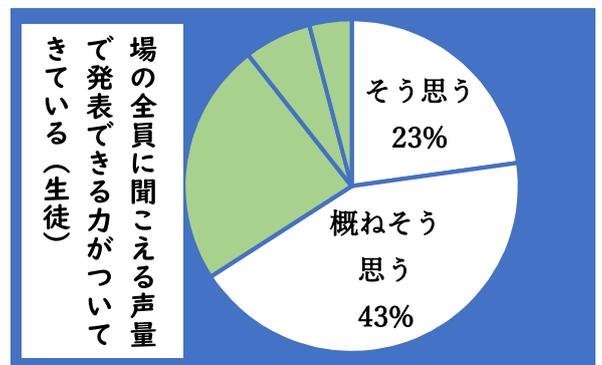
「4. 学校は、一人ひとりの生徒を大切にし、いじめや差別のない学校にしようと努めている」の項目については85%でした。100%の肯定的な評価をいただけるよう、これからも一人ひとりの生徒を大切にしたい学校づくりを進めてまいります。

「5. グランドデザインはわかりやすく学校の方針を伝えている」の項目における、肯定的回答は77%であり、最も低い評価となりました。現在、今回のアンケート結果等を受け、来年度のグランドデザインを作成しています。より分かりやすく、皆様に学校の方針が伝わるものとなるよう、改善してまいります。

1. 学校は、教育方針や教育内容をわかりやすく伝えている。
2. 学校で考えている願う生徒の姿は、わかりやすい。
3. 学校は、保護者や地域からの願いや要望に応えるよう努めている。
4. 学校は、一人ひとりの生徒を大切にし、いじめや差別のない学校にしようと努めている。
5. グランドデザインはわかりやすく学校の方針を伝えている。

《 2 本年度の実践目標について 》

ほとんどの項目が肯定的に捉えられている中、今年度も力を入れてきた取り組みの一つ「**自己肯定感に支えられた発信力の育成**」において、右の結果の通り、生徒の肯定的な回答は66%に留まり、他の質問に比べ、低いものでした。保護者の皆様の回答も同じ結果でした。来年度も引き続き、自信をもって自分の考えを表現、発信できる力を伸ばすことができるよう、授業及び学校生活において、重点的に取り組んでまいります。また、保護者の皆様へお子様の成長の過程や具体的な発信の場面を、積極的にお伝えしてまいります。



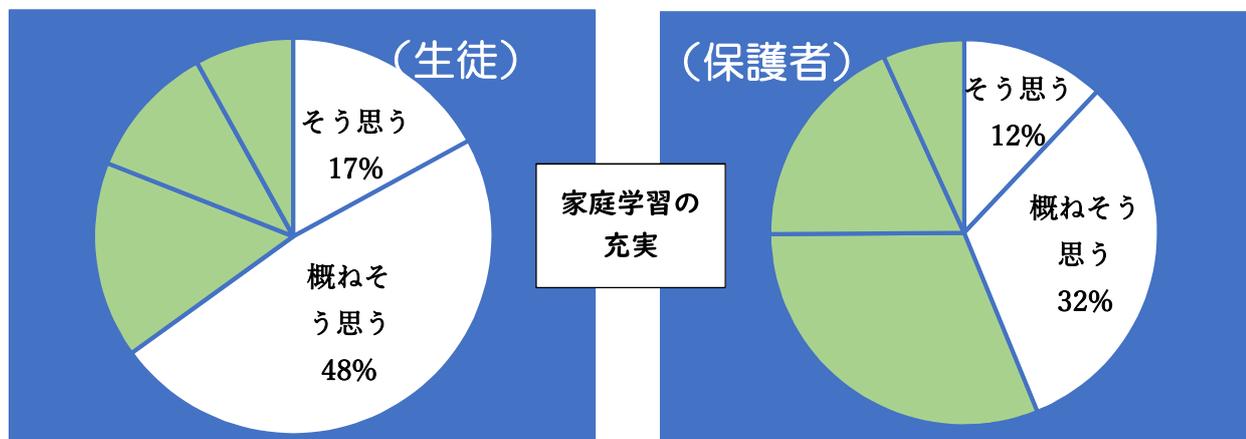
《 3 学校生活について 》

「**楽しく学校に通っている**」の項目について、生徒は肯定的な回答が83%、保護者は80%でした。保護者の回答が昨年度と比べても下がっています。結果を真摯に受け止め、よりよい人間関係づくり、より

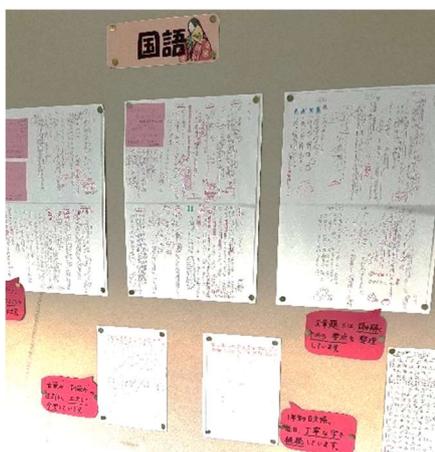
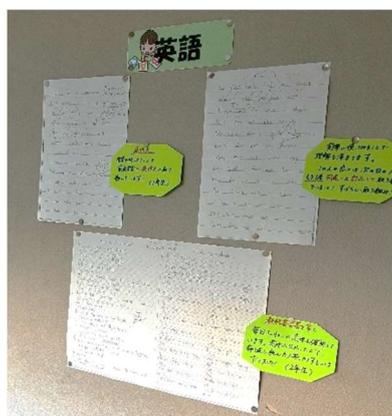
よい授業づくりを大切にしながら、どの生徒にとっても安心・安全であり、更に魅力的で楽しい学校を目指していきます。また、そのために、授業力・教師としての資質を高める研修を行ってまいります。

《 4 家庭教育について 》

まず注目したい項目は、「家庭学習が充実している」の項目です。下のグラフの通り肯定的な回答は、生徒が65%、保護者においては44%でした。家庭学習については、現在、学校でも家庭学習のあり方について協議・検討を続けています。

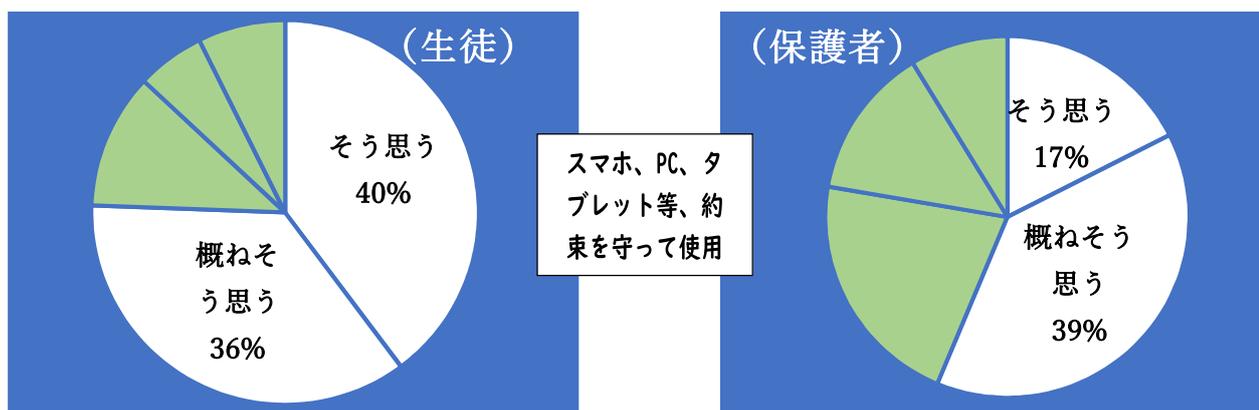


写真は、校内に掲示した「家庭学習の『キラビト』」の様子です。



ここでは友だちの家庭学習の取組の具体や、工夫を紹介しています。教科担任からは、コメントが添えられ、他の生徒にもどのような点を参考にしたらよいのか分かりやすくなっています。友だちの取組を見て、参考にしたり、刺激をもらったりしてもらえたらと考えています。今後も、授業と結びついた、生徒にとって必要感があり、力を伸ばす家庭学習となるよう、検討を続けてまいります。

2つ目は「スマホやパソコン、タブレットなどを、約束を守って使用している」の項目についてです。結果は次の通りです。



ここでは生徒と保護者の皆さんとの結果に大きな差が出ています。学校としては、この結果を大切に受け止め、来年度のグランドデザインに、「授業で育む『情報活用能力・メディアリテラシー』」を、全校の重点として位置づけていきたいと考えています。なぜなら今後、ICTを活用した授業や、家庭へのタブレットの持ち帰り・タブレットによる家庭学習等を推進していく上でも、ご家庭のご理解・ご協力をいただくことが、何よりも大切になってくるからです。

「約束が守れていない」と回答された保護者の皆さんの中には、「各機器の利用によるトラブル等が生じることへの不安」をお持ちでいたり、「情報活用能力や正しく使おうとする力（メディアリテラシー）の更なる育成」を望まれていたりする方が多いのではないかと思います。

12月の校長室だよりでもお伝えしましたとおり、「この使い方、誰も傷つかないのか」と想像力を働かせ、誰にとっても安心して安全な使い方ができる生徒になってほしい、と考えています。そして「怖いから『使わせない』」のではなく、「安全・安心な使い方ができる『善き利用者』」にもなってほしいと思います。そのために専門家による講演会や学習会はもちろん、毎日の授業の中でも情報活用能力を育んでいきます。

《自由記述欄にお寄せいただいたご要望・ご意見について》

1 生活のきまり（服装等）の見直しについて

女子の制服の下に着るカッターシャツの必要性についてのご意見をいただきました。教務部、生徒指導部を中心に職員で検討をする中で、カッターシャツ以外にも、「生活のきまり」について、現状にそぐわないものに関しては、この機会に見直していこうということになりました。

見直す点は以下の通りです。矢印↓の下段が変更後のものです。

<p>○白のカッターシャツ(通年) ↓ ○冬期間の白のカッターシャツ(ワイシャツ)は日常生活での着用の有無を問わない。ただし、儀式的正式な場では着用する。</p>	<p>○ベルトは黒色で派手でないもの ↓ ○ベルトは黒、茶、紺色等派手でないもの</p>	<p>○くつ下は白地の清楚なもの くるぶしソックスははかない ↓ ○くつ下(冬期間のストッキング、タイツ、アンダーウェア)は白、黒、紺色等の派手でない色のもの くるぶしソックスははかない</p>
---	--	---

冬期間のカッターシャツにつきましては、「制服の首元等の汚れを防ぐ」等の役割で、着用したいご家庭もあると考えたため、現段階では廃止にせず、「着用の有無を問わない」といたしました。また、場に応じた服装を整えることを学んでほしい、という観点から「儀式的正式な場」での着用をお願いしていきます。「儀式的正式な場」とは入学式等の儀式的行事や来賓を招く場、校外行事・学習、テストや入試の時などです。ただし気候によってジャージでの参加を指示することもあります。

上記内容につきましては、3月1日からの運用といたします。ご理解・ご協力よろしく申し上げます。

2 ICTの活用について

ICTの活用(タブレットの持ち帰りやデジタルドリルの活用等)の推進について「タブレットの持ち帰りやデジタルドリルの活用が進んでいない。デジタル教育格差が危惧される」とのご意見をいただきました。

本校において授業では、ほぼ毎日タブレットが使用されていますが、持ち帰りについてはご意見の通り、進んでいない状況でした。2学期後半から、飯田市教育委員会の指導を受けながら、タブレットの持ち帰りについても、奨励をしてきています。

また、単に「持ち帰る」のではなく、「何のために」をしっかりと生徒と確認し、必要感のあるタブレット利用を推進しています。そのために、前項「4 家庭教育」のところでも述べましたが、今後も授業の中で、しっかりと「情報活用能力」を育んでまいります。また、不十分な点についてはこれからもICT中核教員を中心に深めていきたいと思っております。

3 部活動について

部活動の顧問や職員の対応、冬場の部活動、他校との統合や地域クラブへの移行についてご意見をいただきました。現在活動している部活動については、顧問の職員を中心に指導を行っていますが、今後一層多くの職員で目をかけながら活動を進めていきたいと思っております。また、今後の部活動が地域クラブへ移行していくことを念頭に、校内の部活動のあり方について、継続して検討してまいります。保護者の皆様には、新たな動きにつきまして、随時情報をお伝えし、ご理解・ご協力をいただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

冬場の部活動については、来年度は5時間授業の日を定期的に入れ、少しでも活動ができるように考えています。また、地域のクラブ移行や拠点校部活動、他校との統合に関しては、飯田市教育委員会へ要望を出しながら、スムーズに進められるようにしていきたいと思っております。

4 クラスマッチについて

学年2学級なのでクラスマッチはできないかというご意見をいただきました。今年度も竜峡祭などで、学年の枠を超えた全校でのレクリエーションを楽しみました。来年度も原則的にはその方向で進んでいますが、学年単位でのクラスマッチやレクリエーションができないか、検討していきたいと思っております。

5 欠席フォームの入力に関して

「事前に分かっている欠席等の連絡方法がまだよくわからない」という意見をいただきました。

本校では昨年度から事前にわかる欠席や遅刻、早退に関してはフォームでの入力をお願いしていますが、来年度、飯田市教育委員会が新しい保護者との連絡ツール「tetoru（テトル）」を導入する予定です。これまでの方法との変更点は何か、早めにお知らせするとともに、4月までに入力方法の丁寧な説明と、より入力しやすい方法への改善を進めていきます。

6 職員・生徒の姿に関わって

職員の気になる姿や言動について、忌憚のない意見をいただきました。一つひとつを真摯に受け止めるとともに、個別のご意見に関しては校長が職員と面談させていただきました。教師としての資質・授業力を向上させるため、職員研修等を重ね、今後も誠実に取り組んでいきたいと考えています。

また、全職員に関わるご意見もいくつかいただきました。「生徒への個別に聞く時間を定期的に設けていただきたい」「もっと子ども一人一人に目を配っていただきたい」「子どもたちの表面だけで判断しないでほしい」など、お子様一人一人への丁寧な関わり、理解を願う保護者の皆様のお気持ちが伝わってまいりました。現在学期に1回、学校生活アンケートを実施するとともに、年に複数回、生徒との面談の時間を確保しておりますが、個々の成長、頑張りを捉え、生徒との毎日の対話を大切にしていまいります。また、ご意見に関して職員会議にて全職員共有させていただき、協議いたしました。今後一層の努力をしてまいりますので、今後も不安なこと・心配なこと等がありましたら、遠慮なく申し出てください。

7 学校運営協議会の皆様からのご意見

学校運営協議会の皆様にも、今年度の学校運営について評価いただくと共に、上記回答内容についてもお諮りし、率直なご意見をいただきました。概要は以下の通りです。

- ・教職員の皆様には、子供達に積極的に指導していただいていると感じています。
- ・多様な選択肢が選べる中で、ふるさと竜峡を愛することを目指す子どもの姿としてうたってくださりありがたい。
- ・先生から地域との接点を大切にしてくださっている様子をを感じる。引き続き生徒が地域に興味をもてるきっかけづくりを考えていきたい。
- ・通学生徒さんの様子等からも、あいさつの声や、横断歩道での礼なども、さすががしくさわやかな中学生の姿があります。
- ・夏に行ったキャリフェスの生徒の聞く姿勢、関心度、自分事にする姿がとても印象に残りました。素直に質問をしてくれたり、積極的に感想を伝えてくれたりする姿に感心しました。
- 校長先生が作成している「校長室だより」毎月でなくても良いので2～3ヶ月にまとめて、公民館を通じて配布していただければ事前に理解することができる。
- 部活動地域クラブについては、生徒たちは待たなしで時間が過ぎていってしまう。この問題については早期に解決していかなければならない。各団体も協力できる体制が必要。地域も協力したい。
- 「スマホ、タブレット等の約束が守られていない」というのは、「利用時間が守られていない」という面も大きいのではと思う。家庭と学校が協力して、話をしていけるとよい。

学校運営委員の皆様からは、本年度の学校運営について多くの肯定的なご意見をいただき、その中で生徒の成長の姿を評価いただきました。また、地域として協力を惜しまないとの心強いお言葉をいただきました。一方で、学校の取組を情報として更にわかりやすく発信する必要があること、地域との繋がりを切らさず、継続・発展していったほしいとのご意見もいただきました。

8 最後に

「いつもお忙しい中、子どもに向き合ってくださいありがとうございます」「先生達は勉強を分かりやすく教えてくれるし、優しいと言っています」等、保護者の皆様からは、本校職員による生徒の支援や、生徒への対応に対して、温かく励みとなるようなメッセージを数多くいただき、大変うれしく思いました。ありがとうございました。今年度の回収率は75%を超えました。来年度は80%以上のご協力をいただけるよう、努力してまいります。今後も保護者の皆様と力を合わせて、精一杯教育活動に取り組んでいきたいと思っております。本校の子どもたちのため、引き続きよろしく願いいたします。